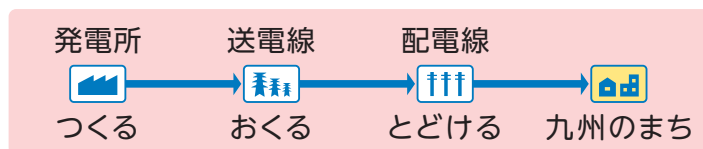


♡ 思いでつなぐ九州の電気 ♡

私たちは「ずっと先まで、明るくしたい。」という九州電力の思いのもと、社員一人ひとりが何としてでも電気を安定的にお届けするという“思い”で、日々、業務に取り組んでいます。



自然の恵みを利用した 純国産エネルギーの源を守っています。



私は日向土木保修所が管理する13か所の水力発電所を定期的に訪れ、ダム of 巨大なコンクリート壁に異常がないか、貯水池周辺の護岸や山に異常がないかなどを、点検しています。

自然の恵みを利用し、純国産のエネルギーを産み出すこの大きなダムを“守る”という仕事に、私は大きなやりがいを感じています。ダムの管理には、私たちの技術や経験が不可欠です。先人から受け継いできたダムとともに、これらの技術や経験も若手社員に継承し、ずっと先までエネルギーを産み出すダムとして守っていきけるよう、日々の業務に取り組んでいきます。



宮崎支社 技術部 日向土木保修所 ぶくだ みつり
福田 満徳

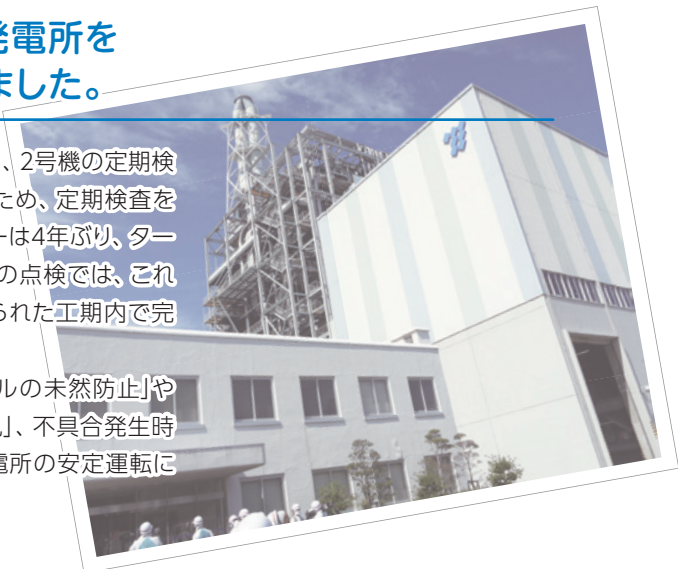
長期間休まずに頑張った発電所を しっかりとメンテナンスしました。

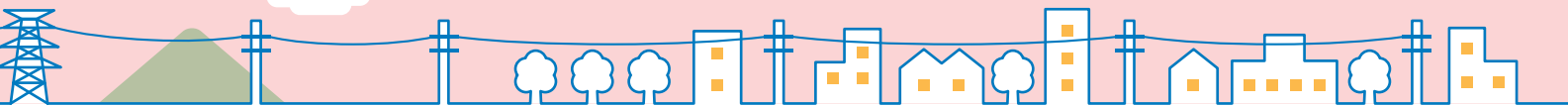


豊前発電所 保修グループ たじま けいじ
田島 慶治

豊前発電所では、2013年9月～11月に、2号機の定期検査を実施しました。電力供給力の確保のため、定期検査を2年間繰り延べしていたことから、ボイラーは4年ぶり、タービンは6年ぶりの点検となりました。今回の点検では、これまで繰り延べしてきた詳細な点検を、限られた工期内で完了させることに大変苦慮しました。

今後も、このような点検による「トラブルの未然防止」やパトロール等による「設備異常の早期発見」、不具合発生時の「早期復旧」に全力を尽くすことで、発電所の安定運転に努めていきます。





「島のすべての灯りを、私たちが守っている」 この誇りが、トラブル一つひとつを防いでいます。



鹿児島内燃力センター 新与論発電所
ふくだ ゆういち
福田 裕一

与論島は、人口約5,400人の九州最南端の小さな島。新与論発電所の社員はわずか3名、委託先を含めても若干10数名の所員で、この島のすべての電気を、この発電所で作っています。

毎年台風が通るたびに停電することもあります。電気が復旧した時に島の皆さまからいただく感謝のお言葉は、私たちに誇りと責任感を感じさせてくれます。日頃からお付き合いしている、島の皆さまの暮らしを守るため、これからも、小さな不具合も見落とすことがないように、所員全員でこの島の灯りを守っていきます。



高度な技術力とチームワークで 電力輸送の大動脈を守っています。

私たちは電力輸送設備のメンテナンス業務を行っている(株)九電ハイテックで、送電鉄塔の点検を行っています。送電鉄塔の多くは、山間部や臨海部といった常に風雨にさらされる苛酷な自然環境下にあるため、小さな障害や劣化を見逃さない高度な技術力が求められます。また、高所での作業となることから、細心の注意とチームワークが重要になります。

私たちの仕事は普段はお客さまの目にとまることは少ないですが、若手とベテランが切磋琢磨しながら技術力を高め、日々の業務に誇りと責任をもって、九州のお客さまへ電気を安定してお届けできるよう取り組んでいます。



(株)九電ハイテック鹿児島支社 送電グループ
まはら こうさく
馬原 幸作
おくの けいご
奥野 圭吾



「早くお客さまに電気をお届けしたい」 どんなに雪が多くても、その思いは変わりませんでした。



三重営業所 設備保全グループ
まえがわ けいすけ
前川 慶介
営業グループ
ひらやま みゆき
平山 美幸

2014年2月、大分・宮崎地区は大雪による倒木が原因で電線が断線し、三重営業所管内では大規模な停電が発生しました。山間部では積雪や倒木によって道路が遮断された箇所も多く、復旧機材を担ぎ、膝まで積もった雪道を歩いて運搬するなど、とても大変な作業でした。

お客さまからもお問い合わせの電話を多数頂戴しましたが、復旧作業の状況を丁寧にお伝えするなど、お客さまに少しでも早くご安心いただけるよう、所員全員で思いを一つにし、お客さまに電気をお届けしました。

